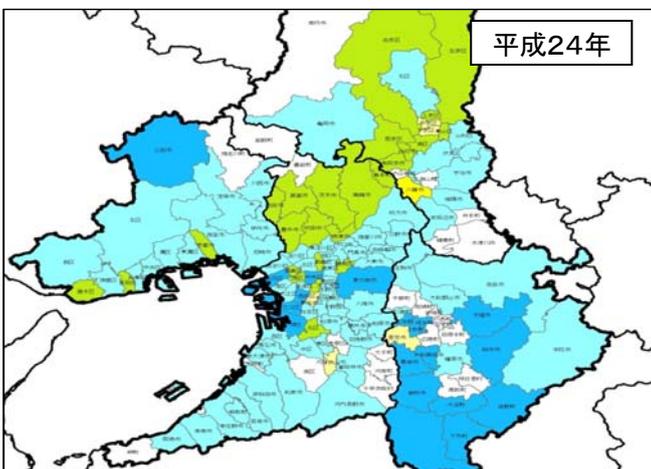
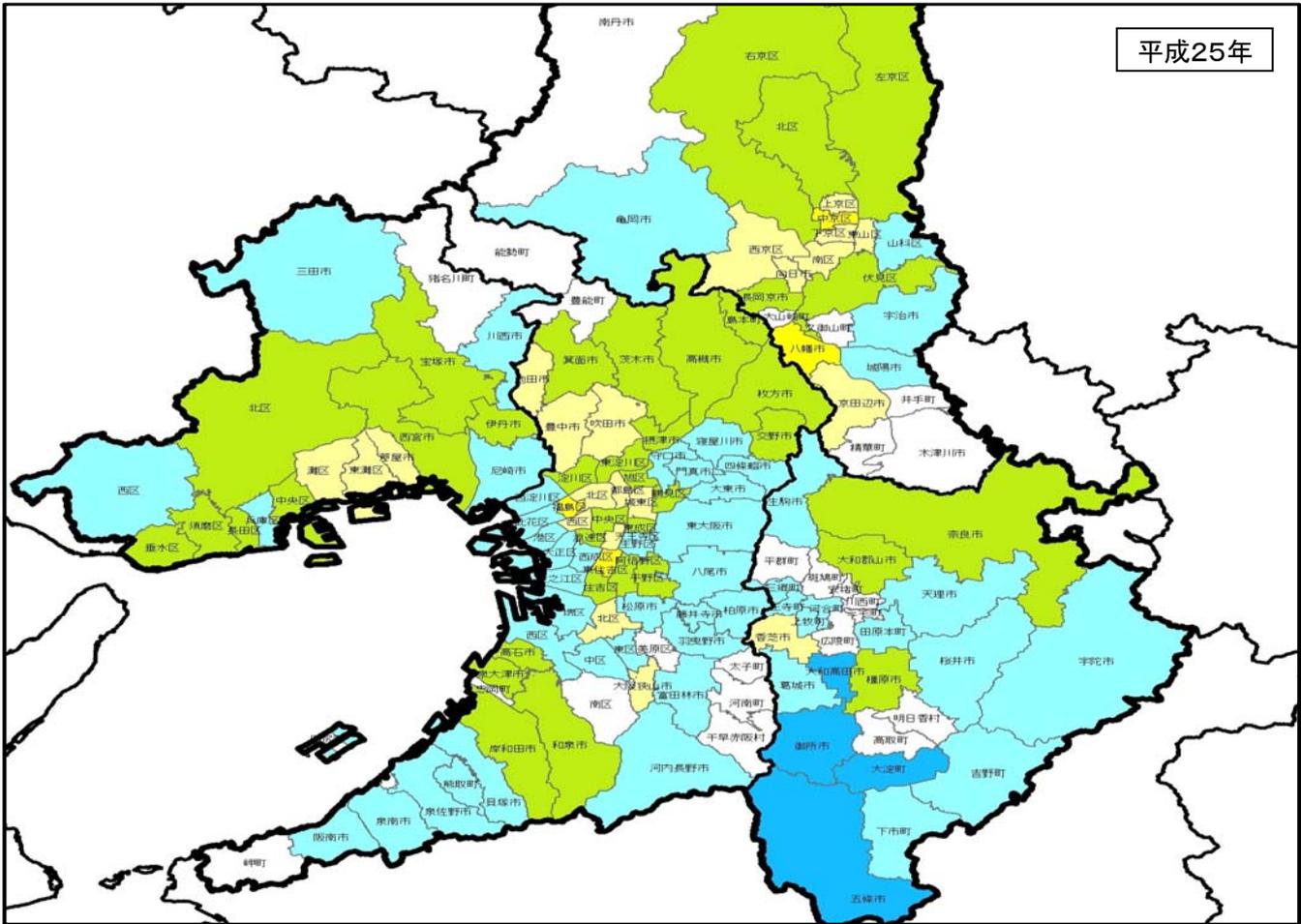


4. 大阪圏の商業地

- 京 都 府** ・ 京都市は0.2%上昇(前年▲0.3%)。利便性や人気学区からマンション、ホテルの需要が強く、中京区、下京区、上京区では区全体で上昇。また、観光による店舗需要のため、東山区は区全体で上昇となった。
- ・ 八幡市は、1.3%上昇(前年 2.6%)。大型店舗の開業後、店舗需要が堅調に推移している地点があるため上昇となった。
- 大 阪 府** ・ 大阪市は▲0.1%(前年▲2.4%)。大阪市内の中心部ではオフィスの新規供給に一服感があり、賃貸市場に底打ち感が見られる。また、都心部の中心はマンション用地としての希少性があり、福島区、西区、天王寺区で上昇横ばい地点が複数現れ区全体で上昇となった。
- ・ 吹田市は 0.3%上昇(前年▲0.4%)。江坂などで、マンション目的の素地需要等のため上昇となり、市全体で上昇となった。
- 兵 庫 県** ・ 神戸市は▲0.6%(前年▲1.3%)。マンション需要が強く灘区が区全体で上昇。東灘区が区全体で横ばいとなった。
- ・ 芦屋市は0.5%上昇(前年▲0.3%)。住宅地の好調を反映して市全体で上昇となった。
- 奈 良 県** ・ 香芝市は 0.0%(前年 0.0%)。商店街背後の住宅団地で人口増加があり、駅周辺の店舗需要が堅調に推移している。



【凡例】	
	1%以上の上昇
	横ばい又は1%未満の上昇
	1%未満の下落
	1%以上 3%未満の下落
	3%以上の下落